

市民講座

激動の四半世紀

第1回 11月28日(土)

講演90分+質疑応答時間30分

【講師】環境情報学部長 **村井 純** 教授

講演テーマ

インターネット前提社会の出發

インターネットがパソコンに組み込まれ、家庭で使えるようになったのは1995年、Windows95や阪神淡路大震災の年だった。あれから30年。i-modeやスマホはほとんどの人のインターネットへの参加を実現し、デジタル化された今のテレビはインターネットに繋がったIoT (Internet of Things, モノのインターネット) の代表選手である。めまぐるしいテクノロジーの進歩には未知の危険があるようにも思われるし、不安を感じる人も多い。一方で、質の高い高齢社会、健全な経済、元気な地方都市、生涯を通じた高いレベルの教育など、理想と夢の実現には、インターネットを前提とした社会における洗練された新しいサービスの発展は欠かせない。人のため、社会のための、これからのデジタル技術は、すべての人が安心して安全に発展する必要がある。これから30年、私達と地球の未来をテクノロジーはどこに向かうのかを参加者と一緒に議論する。

第2回 12月5日(土)

講演90分+質疑応答時間30分

【講師】総合政策学部 **廣瀬 陽子** 准教授

講演テーマ

グローバル政治の変動を見る視点 冷戦構造から多極的世界へ?

冷戦が終焉を迎え、米ソ二極構造から、米国の一極的世界ともいえる状況を経て、現在の世界は多極化に向かっていように見える。さらに、技術の進歩などもあり、世界の体感距離が大きく縮小した一方、世界の富の分布も大きく変化した。そして、世界を揺り動かすアクターの単位は「国」からもっと多様化し、「国際政治」という用語はもはや死語となったともいえる。そして、世界の共通の「敵」も「ソ連/共産主義」から、「イスラーム/テロリスト」へと変わっていった。他方で、世界各地で多くの紛争やテロ、政変が発生しており、平和と安定には程遠い状況があるのも事実だ。このような四半世紀の激動の動きをどのように考えるべきなのか、その視点を提供する。

第3回 12月19日(土)

講演90分+質疑応答時間30分

【講師】看護医療学部 **大谷 俊郎** 教授

講演テーマ

膝の医学25年の歩み 超高齢社会への挑戦 元気に歩き続けるために — 今日から始める膝と腰の痛み対策 —

SFCが開設された1990年には男性75.9歳、女性81.9歳だった日本の平均寿命は、2014年には男性80.5歳、女性86.8歳まで延伸し、日本社会の超高齢化が進んでいる。ヒトが身体を動かすために必要な骨、関節、筋肉、神経などの運動器を80年以上健康な状態に保つ事は難しく、日本社会にはすでに運動器に何らかの障害(ロコモティブ症候群)を抱えた高齢者人口の塊が出現している。平均寿命だけでなく健康寿命も延伸するためには、骨と関節の機能を健康に維持する事が不可欠である。今回は高齢者に多発する運動器の障害である膝と腰の痛みをテーマに、病態、症状、治療、予防、今後の展望などについて解説し、すぐに実践可能な対処法を紹介する。

開催場所 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
オメガ館(Ω館)12番教室
※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

対象者 藤沢市在住、在勤、在学の方

受講料 無料 ※事前にお申し込みください。
※お申し込み先は右記の慶應義塾大学まで

時 間 各回ともに午後2時～4時

お問い合わせ先 藤沢市生涯学習総務課
電話：0466(25)1111 (内5312)

お申し込み先 慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 総務担当庶務
電話：0466(49)3404 Fax：0466(47)5041
E-mail：shomu@sfc.keio.ac.jp

